

流域治水とは

流域治水とは「治水は誰かがやってくれるだろう」ではなく「**自分事**」と捉え、被害を減らすために、「**自分達にできること**」は「**自分達でやろう**」という考え方です。



● なぜ流域治水が必要なの！？

過去の災害

千代川では、洪水による災害は過去に幾度となく発生しており、大きな被害を及ぼすことも少なくありませんでした。



被害を減らす対策

国や県・自治体は、洪水被害から**人の生命や財産を守る**ために、堤防の整備やダム建設など、主に川の持つ能力を向上させる整備を行ってきました。



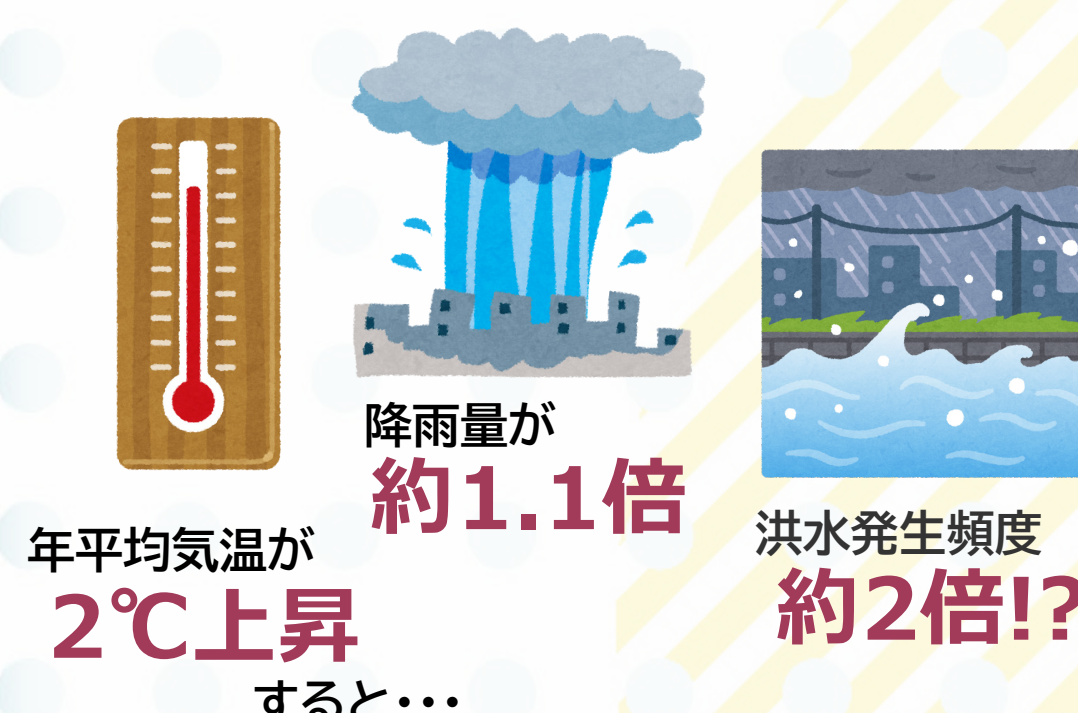
気候変動の影響

しかし、気候変動による雨の降り方は急激に変化しており、台風や豪雨による甚大な水害は全国各地で発生し、あとを絶ちません。

「**大雨の発生頻度**」、「**氾濫の危険性がある水位超過の発生回数**」は増加傾向にあり、今後も更にきびしくなると予想されています。

気候変動への対応

国土交通省では、河川整備の計画を気候変動に対応したものに随時変更しています。



それでも災害を完全に抑え込むことができない

今後、洪水被害の発生リスクが高まる中でも、洪水被害から **人々の生命・財産を守る** ために流域に関わるあらゆる関係者が一緒に水害に備える

「流域治水」

という取組が始まっています。

これまで

「治水」は行政だけで行うもの



行政

これから

流域に住む誰もが一緒に！



行政でも



森林や田んぼでも



学校や公園でも



家庭でも

対策の 3つの柱

- ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ② 被害対象を減少させるための対策
- ③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



国土を**整**え、全力で**備**える
国土交通省中国地方整備局
鳥取河川国道事務所

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

みなさんの協力が必要です！

流域治水模型

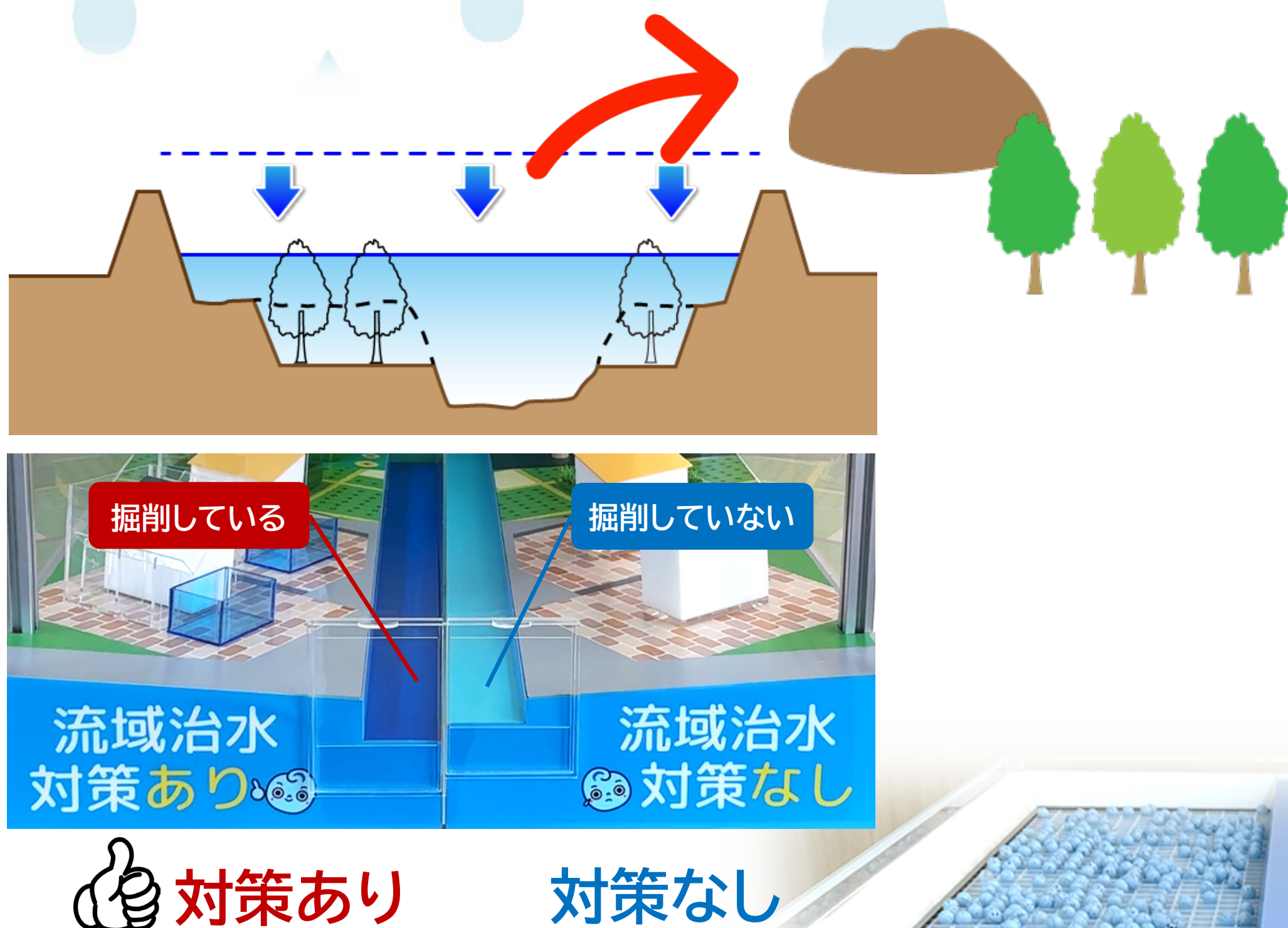
この模型では、さまざまな流域治水の対策のうち、4つの対策を表現しています。

対策の有無を比較しながら
流域治水対策の効果を
知ることができるよ！



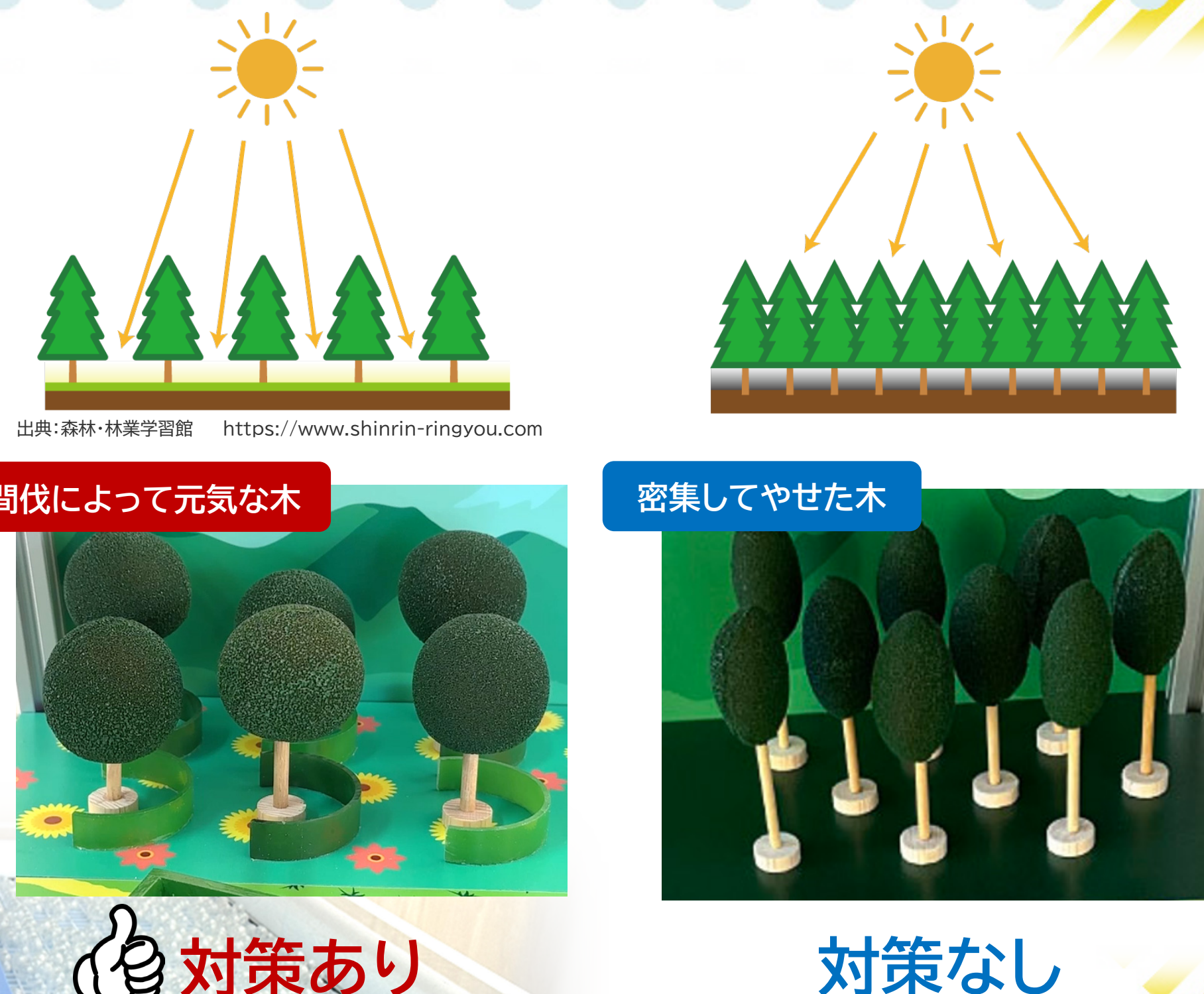
● 河道掘削

河川管理者が必要に応じて河道内の土砂を掘削し、河川の流れを改善することで浸水リスクの軽減を図っています。



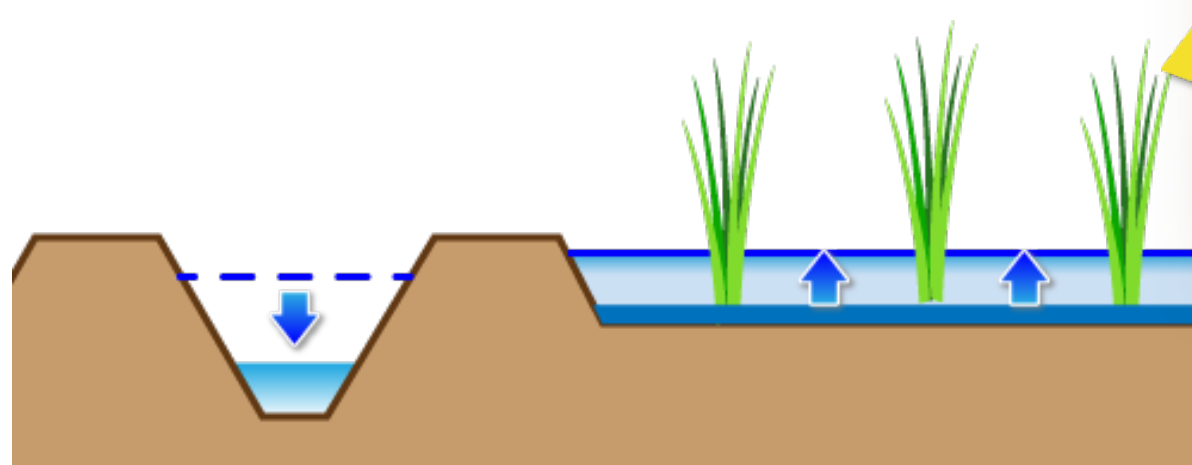
● 森林整備

間伐など森林を適切に管理することで、森林の保水能力があがり、大雨時には木や土壌の水を貯め込む量が増えます。



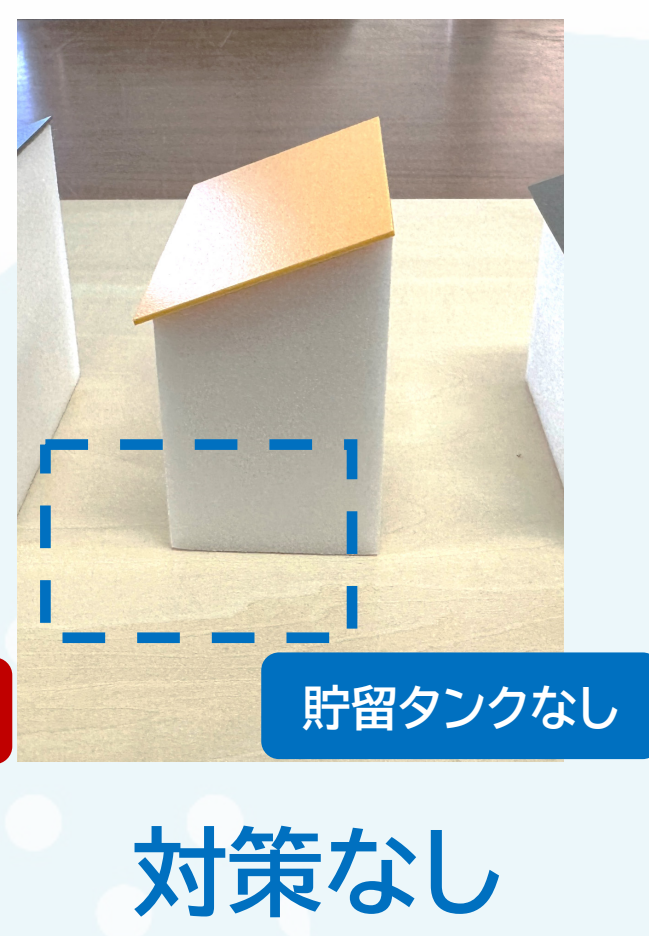
● 田んぼダム

農家のみなさんの協力により大雨の時に田んぼに水を貯める取組を実施しています。出前研修会を実施し、協力や推進を呼び掛けています。



● 雨水貯留

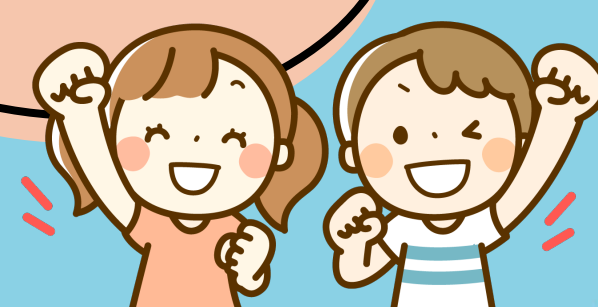
貯留タンクを設置し、雨の時に水を貯めます。小学校や福祉施設、各家庭などに雨水貯留タンクの設置を推進しています。



流域治水の効果を模型で見てみよう！

国や県、自治体がさまざまな対策を行っていますが、田んぼダムにしたり、各家庭に雨水貯留タンクを置くことで、流域治水に協力することができます。

さあ、みんなで
流域治水！！



国土を整え、全力で備える
国土交通省中国地方整備局
鳥取河川国道事務所
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau